

令和2年度
まちづくり活動
アシスト事業報告

「中萩親路の会の活動と、助成金の活用について」

中萩親路の会
会長 村尾 孝志

私たちについて

私たち「中萩親路の会」は、中萩中学校PTA執行部OB、OGと中萩中学校おやじの会OBが中心となつて、平成30年5月に結成しました。現時点のメンバーは総勢16名です。中萩親路（おやじ）の会は、おやじの会という名前から男性のイメージがありますが女性の方が多いです。

結成の直接的なきっかけとしては、市内の小中学校すべてが、平成30年度からユネスコスクールとして、地域に開かれた学校となるのが教育委員会により決められたものの、地域に、学校からの要請を一手に受け入れることができるような組織が存在しないことから、私たちが組織をつくろうということになりました。いろいろな活動をしていきますが、一番最初からずっと継続しており、私たちが一番取り組んでいる活動が、環境美化活動である自然園（河川区域Ⅱ約6000㎡）の草刈りです。新居浜市と覚書を結び、アダプトプログラムとして年3回の草刈りをしています。新居浜市からは刈った草を入れるゴミ袋の無償提供と、清掃センターに草を持ち込んだ際の処分費の減免（免除）を受けています。それ以外の支援はありません。その他必要と

なる経費については、自分たちで稼いだり、自分たちで負担して地域のために活動・運営しています。

助成金をいただいて実施した活動

私たちの規約にもあるように「できる人ができる時にやる」としており強制はしないルールにしていますが、メンバーみんなが極力予定を調整して取り組んでいます。しかし、

少ない人数で草刈りをすることもままあり、少人数の場合は全体の草刈りを一日で終了することは困難でした。このような状況の中、ECPRの助成金をいただき、歩行型草刈機を1台購入し、自然園の草刈り5回など地域の草刈りに活用しました。活用して一番



楽々と草刈り



歩行型草刈り機講習

良かったと思ったことは、準備や片付け、人員の調整に今までかかってきた労力と時間が大幅に削減できたことです。ただ、その空いた時間を他の地域活動をする時間にしようと考えていましたが、地域の行事、イベント等は、ほとんど中止となったため今年度については出来ませんでした。

これからの地域活動

コロナで地域の行事も中止が相次いでいます。コロナが落ち着くまで行事の再開も難しいかもしれません。それでも、先日文化祭が開催された場合を考え、今年もさつまいもの苗を植えました。中萩親路の会みんなでこれからも地域活動を進めていきます。



草刈り後



草刈り前

